



仮装児童たちでにぎわった

# ハロウィン・ガーデンパーティ

## いいやま広小路

11/4  
21時～23時



かぼちゃをくりぬく  
ジャック・オ・ランタン作り

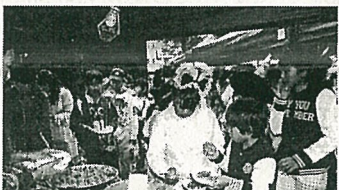
水野歩力さん(5)らは、「あめやクッキーがもたらえて楽しかった」と笑顔で語った。  
広小路再生イベントで

ハロウィンガーデンパーティでは、ALT(英語指導補助)と一緒に本場アメリカの伝統的なゲームを楽

し、思い思いの仮装姿で広小路界隈を練り歩いた。商店で「トリック・オア・トリート」と声をかけて、店員からお菓子をもらって

## 教会を有形文化財に

いいやま広小路会議(田中隆太代表)は29日、飯山復活教会近辺で広小路再生イベントとハロウィン・ガーデンパーティを開催した。今年で3年目を迎える同イベントは児童たちが広小路界隈をハロウィン仮装パレードをしたほか、飯山復活教会に関する講演が行われ、多くの来場者でにぎわった。



周辺店舗によるふるまい

同教会は1932年(昭和7)に建築された木造平屋建(一部二階建)で、文化的価値について保存状態が良い、建設的な質が高いなどの他、飯山市含めて県内5カ所の教会の建築に関わったカナダ人宣教師ジョン・ケージ・ウォーラー司祭が、飯山にキリスト教の

は、市が飯山復活教会を国の登録有形文化財にしようとして昨年調査を進めていたことを受けて、教会を調査している信州大学工学部建築学科の土本俊和教授(55・長野市)を講師に「飯山復活教会の文化的価値」と題し、調査結果を報告した。

その他、復活教会の庭園整備や周辺店舗による地酒、ケーキ、オードブルのふるまい、飯山高校合唱同好会らによる合唱、復活教会ライトアップが行われた。

伝道・布教活動の貢献を示す建築との見解を示した。土本教授は「飯山復活教会は広小路再生の核となる建物。今後は教会周辺の様々な文化的価値を明るみにしていきたい」と話していた。田中代表は「復活教会を中心に良い雰囲気を広げ、近隣施設とともに楽しくて機能的で意味合いのある町になっていければ」と語った。



「トリック・オア・トリート」とお菓子をもらう児童ら



復活教会のライトアップ